

ガラクシア仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成18年 6月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m ²
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> 標準色 <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> 特注色 <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A色(淡色)※ 約 12 m ² /缶 B色(濃色) 約 31 m ² /缶
骨材	JF-3	寒水石(白竜)3 厘	20kg/袋入り	約 21 m ²
	JF-5	寒水石(白竜)5 厘	20kg/袋入り	約 64 m ²

※A色は、下吹きにも使用します。

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

<主な施工道具>

- ・リシガン 口径 4~6mm (下吹きに使用)
- ・双頭ガン☆ 口径 10mm (大塚刷毛製造(株) 双頭ガンBタイプ)
- ・コンプレッサー 2.2kW (3馬力) 以上 (1台使用の場合)

☆双頭ガンの購入は、大塚刷毛製造(株)又は塗料販売店までお問い合わせ下さい。

注：口径は標準が8mmですので、別途10mmをお求め下さい。



<下地調整>

モルタル金ゴテ押さえ（平滑）など

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<ガラクシア（2色吹き）仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

1" JS-800の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	JQ(W)-650シリズ [®] (A色)	20kg
	清 水	1.5~3.0kg
塗布量	1.0kg/m ²	
吹圧力	5~7kgf/cm ² (0.51~0.71MPa)	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm	
	2色(A、B色)のうち淡色を下吹きする。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

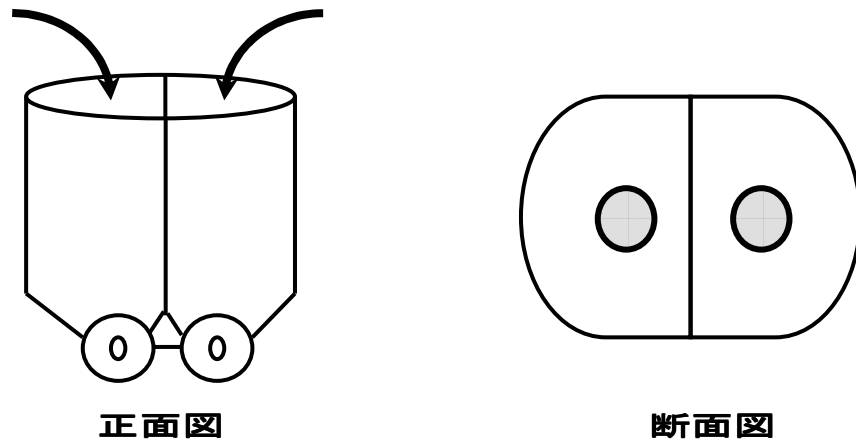
3. 主材 上吹き

配 合	JQ(W)-650シリーズ (A、B色) 20kg
	清 水 1.0~2.0%
	JF-3 15kg
	JF-5 5kg
塗 布 量	約2.5kg/m ² (A色1.25kg/m ² 、B色1.25kg/m ²)
吹 圧 力	4~6kgf/cm ² (0.41~0.61MPa)
施工道具	双頭ガン(大塚刷毛製造(株)双頭ガンBタイプ) 口径φ10mm A、B色とも上記の配合で材料を調合する。調合後、A、B色を等量ずつ分けて双頭ガンに入れ、2色の粒が均等になるように吹き付ける。

<ガラクシア仕上げ施工のポイント>

- ・ 上吹き材料A色、B色について、配合通りに現場で調合する。
 水希釈を多くしすぎないように注意する。水希釈が多すぎると、仕上げがぼけます。(図-1)
 ※色によって粘りが異なります。A、B色の粘りが同じになるよう水希釈で調整して下さい。
- ・ A、B色は等量ずつガンに投入し、双頭ガンの口金を上からのぞき、A、B色が等量ずつ出ていることを確認する。(等量でないと材料が偏って落ち、吹きムラになります。)
- ・ 双頭ガンにて吹圧を調節し、2色の粒(玉)が均等になるよう、ガンを回しながら吹き付ける。(図-2)

A色(骨材調合済み) B色(骨材調合済み)

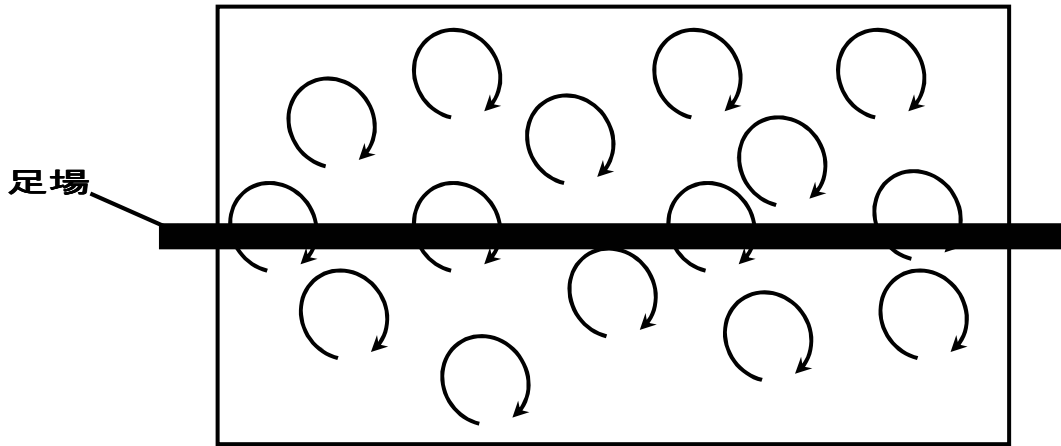


正面図

断面図

(ガンを上から見た)

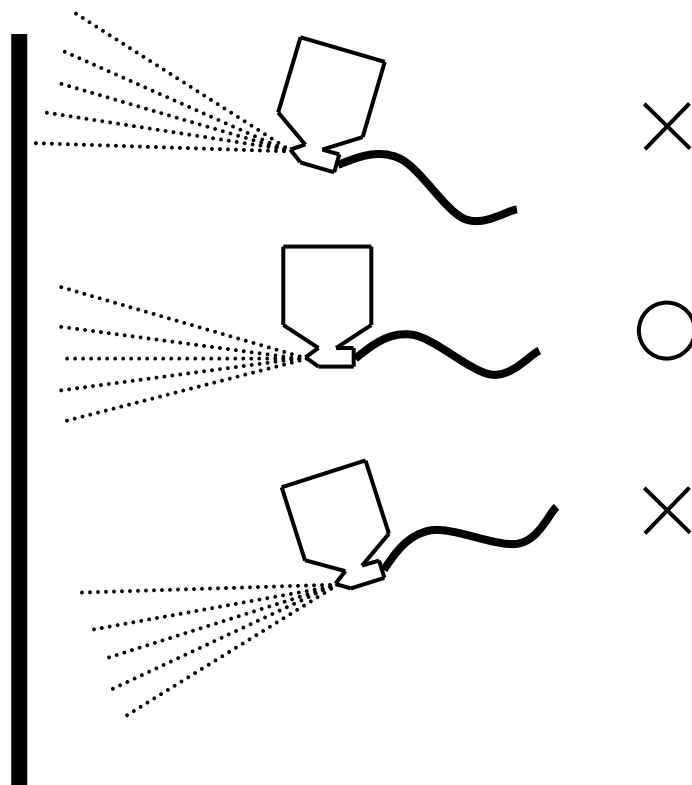
図-1



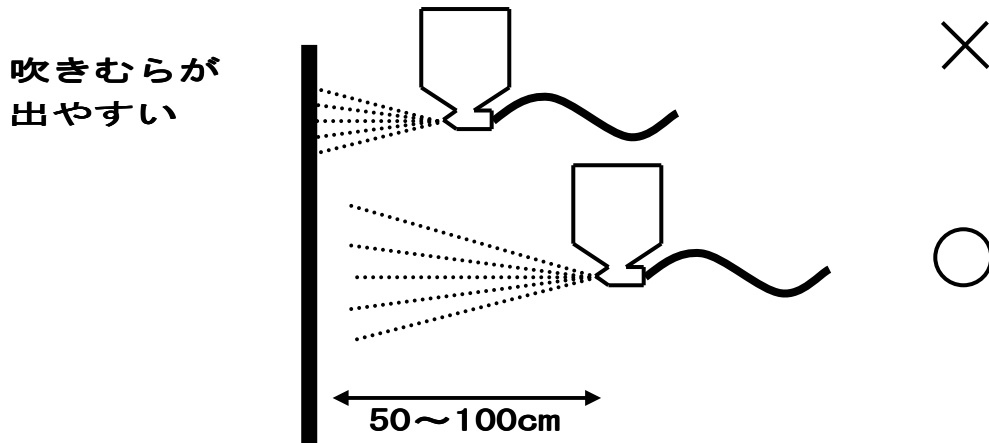
- ・ 足場部分に粒（玉）がよらないよう注意して吹付ける。
(図-2)

<吹付け仕上げのポイント>

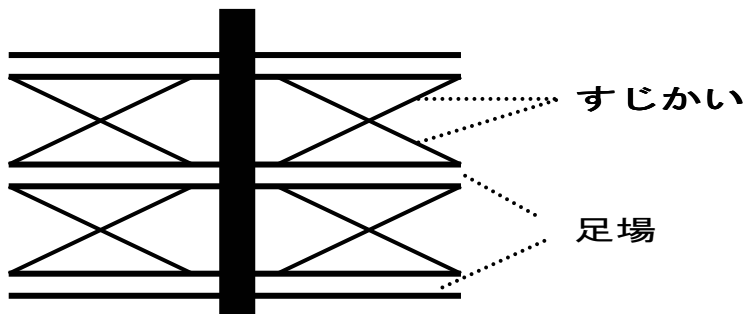
○ガンを壁面にまっすぐ向ける。(斜め吹きを避ける)



○ガンを壁面に近づけすぎない。



※足場のすじかい部分では、吹きムラがしやすい為、特に塗布量には注意する。



- ・斜め吹きする部分が多くなる。
- ・ガンと壁面との距離がとれない。

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ 必ず下地に適したシーラーを使用して下さい。
- ・ 寒水石のかわりに珪砂等を使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。珪砂は使用しないで下さい。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上